

19. 多文化共生について（問50～問51）

問50 豊橋市には約1万8,300人の外国人市民が共に暮らしています。お住まいの地区に外国人市民が増加することをどう感じますか。
 （複数回答：n=2,345）

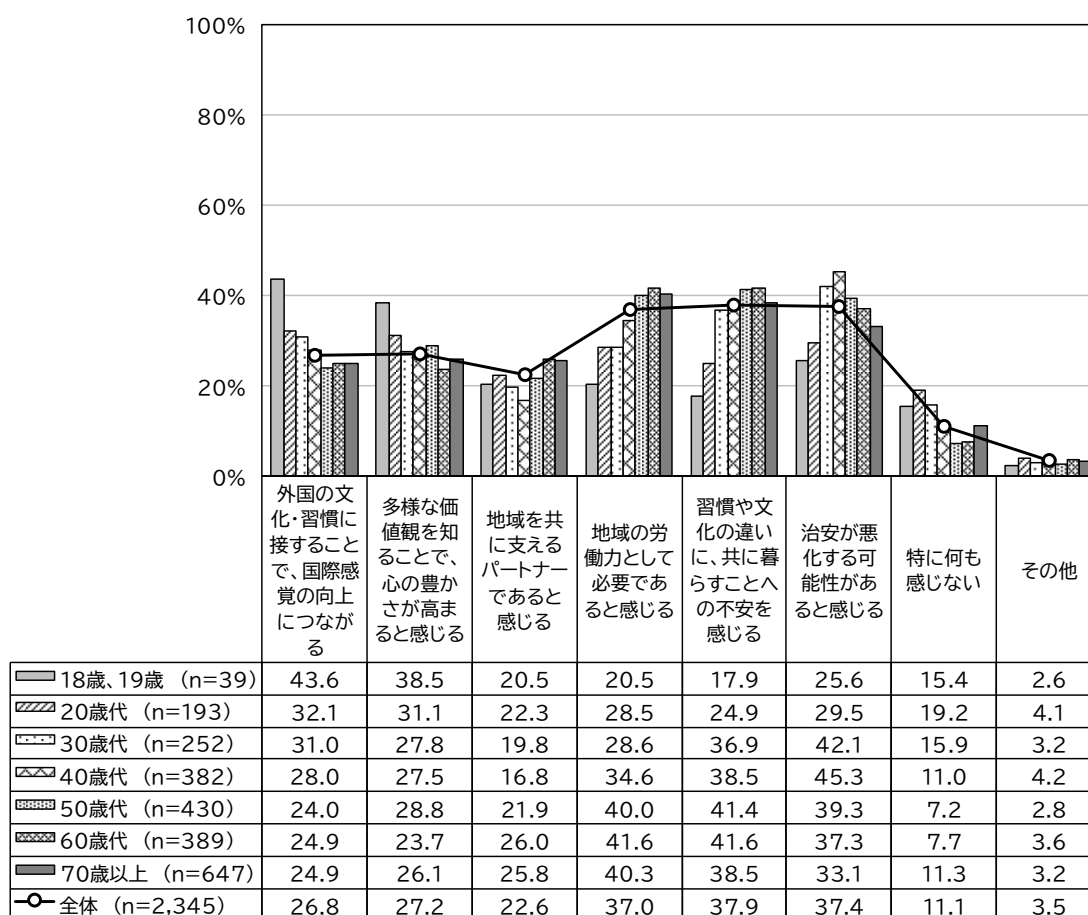
（1）全体的傾向

「習慣や文化の違いに、共に暮らすことへの不安を感じる」と回答した人の割合が37.9%と最も高く、次いで「治安が悪化する可能性があると感じる」（37.4%）、「地域の労働力として必要であると感じる」（37.0%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

18歳、19歳は、「外国の文化・習慣に接することで、国際感覚の向上につながる」と回答した人の割合が43.6%、「多様な価値観を知ること、心の豊かさが高まると感じる」と回答した人の割合が38.5%と他の年代と比べ高くなっている。

また、30歳代、40歳代は、「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が42.1%～45.3%と他の年代と比べ高くなっている。



問5 1 外国人市民と共に暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答：n=2,314）

（1）全体的傾向

「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が78.0%と最も高く、次いで「外国人市民のための相談体制の充実や、多言語での情報提供」（55.9%）、「外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童・生徒の教育の充実」（48.3%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が最も高く、75.2%～82.1%と約8割となっている。

